

令和6年

第4回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

# 令和6年第4回仙北市議会定例会 市政報告

令和6年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和6年春の叙勲の受章についてです。

4月29日、春の叙勲の発表がありました。仙北市では、地方自治功勞で前仙北市副市長の倉橋典夫くらはしのりおさんが瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを、中小企業振興功勞でインスペック株式会社代表取締役社長の菅原雅史すがわらまさしさんが旭日单光章きよくじつたんこうしょうを、消防功勞で元仙北市消防団長の渡辺勇悦わたなべゆうえつさん、元仙北市消防副団長の竹下正勝たけしたまさかつさんが瑞宝单光章ずいほうたんこうしょうを受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功勞が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、5月16日から17日にかけての強風被害についてです。発達した低気圧の影響で、市内で強風による被害がありました。主な被害は、西木町門屋地内にしきちょうかどやで空き家の倒壊、角館町雲然地内くもしかりなどで倒木による市道通行止めが発生しました。

農業関連では、25軒の農家でビニールハウス36棟の被害が確認されています。内訳は田沢湖地区10棟、角館地区4棟、西木地区22棟となっています。文化財関連では、武家屋敷の岩橋家の倒木による隣家りんかの屋根の損傷、旧石黒(恵)家の扉の破損、旧青柳家土蔵の壁かべの崩落が確認されています。また、桧木内川堤のソメイヨシノ4本が幹から折れていることを確認しています。けが人などの人的被害はありませんでした。

次に、行財政改革についてです。

市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を今後の施策展開等に活かすため、5月2日から5月20日にかけて市民意識調

査を実施しました。回収率は、前年度比 2.8ポイント増の 42.9%となっています。現在、集計、分析作業を行っており、結果がまとまり次第お示しいたします。市民意識調査の発送にあたり、敬称記載に不備がありましたことについて、改めてお詫び申し上げます。

市民意識調査のほか、今後実施する事務事業評価や施策評価についても、その先の次年度予算要求により反映しやすいよう全体的に昨年度よりも日程を早めての実施を予定しております。これら行財政改革を徹底的に実施し、市民の幸福度が全国ナンバー1となることを目指します。

次に、仙北市人口動態についてです。

4月30日現在の人口は2万3,192人で前年同月比598人減、世帯数は1万324世帯で前年同月比67世帯減となっております。今年度4月の出生届出数は9人となっております。前年同時期の出生届出数は6人で、3人増という状況です。

先般、民間組織「人口戦略会議」から今後の自治体ごとの人口動態に関するレポートが示されました。その中で、県内では秋田市を除く全ての自治体が「消滅可能性自治体」とされましたが、今後、より一層危機感を強め、仙北市が消滅しないための対策を積極的に実施していきます。

次に、一般会計補正予算(第2号)についてです。

補正額は、4億2,382万8千円の追加で、補正後の額は211億193万2千円です。主な事業は、高度外国人材等受入促進事業費、過誤納税等還付金、定額減税補足給付金事業費、物価高騰対応重点支援給付金支給事業費、予防事業費、仙北市田沢湖観光振興基金積立金、消雪施設整備事業費補助金などです。

なお、令和5年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

## 【総務部】

### ◇ノーコード宣言について

5月9日、DX推進による市民サービスの向上や業務の効率化に取り組むため「ノーコード宣言シティー」に参画しました。ノーコードとは、プログラミング知識がなくてもアプリケーション等を開発できるものです。宣言は市が加盟しているノーコード推進協会が実施する「ノーコード宣言シティープログラム」に基づくもので、東北地方では初めての宣言シティーとなります。その他、関連するDX施策も含め、地域課題の解決につながるツールの開発を計画的に進めていきます。

### ◇仙北市固定資産税等調査委員会の設置について

長年にわたる固定資産税の課税誤りについて、徹底した調査及び検証を行い、事案の原因究明とともに再発防止に努めるため、仙北市固定資産税等調査委員会を設置しました。

4月25日、第1回目の委員会を開催し、委員長は副市長、委員は税理士、司法書士、土地家屋調査士、秋田県税務課職員、総務部長、税務課長及び固定資産税調査室長となっています。今後再発防止策構築に向けて調査、検討を進めてまいります。

また、令和6年度と5年度を比較して2万円以上増額となる納税者の方々に対しては、個別の訪問や文書を送付し、また電話等の問い合わせに対しても丁寧な説明を行い、理解が得られるようできる限りの説明を行っています。

今後、市民の皆様の信頼回復に向け努力してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

### ◇山岳遭難の対応について

5月18日、鹿角市の山林で遭難者を捜索していた鹿角警察署員2人がクマに襲われ負傷した事案を受けて、入山する際は細心の注意を払い、立入り禁止場所へ絶対に入らないよう公式 LINE やホームページなどで呼びかけました。

市では関係機関と山岳遭難発生時における捜索方法について協議をし、今後捜索隊がクマに襲われることのないように、遭難場所周辺で過去にクマによる人身被害が多発しているなど危険性が高い場合は、ヘリコプターや車両による捜索を中心とし、安全と判断した場合に徒歩での捜索を行うこととしました。

## 【企画部】

### ◇ふるさと納税について

今年度ふるさと納税寄附額の5月末までの集計値について、対前年比 189.8%の2億4千万円超と堅調に推移しております。

しかしながら、昨年の猛暑による米の収穫量の減少や物価高騰に加え、インバウンド回復による消費拡大など様々な要因が重なり、主力返礼品である米の価格が大幅に高騰しており、今後の社会情勢を注視しながら、引き続きより多くの方々からご助力いただけるよう努めてまいります。

### ◇インターナショナルスクール誘致事業について

デジタル田園都市国家構想交付金を活用して実施するインターナショナルスクール誘致事業について、誘致促進業務は株式会社 Japan Navi、市内遊休施設等調査は株式会社北都銀行、MaaS事業化企画・運営業務は東日本旅客鉄道株式会社と業務委託の契約を行いました。

また、シンガポールの学校法人によるあきた芸術村等での開校が具現化するよう、各事業の推進と合せて、関係者と連携しつつ、全力でサポートしてまいります。

### ◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会総会及び整備促

## 進大会について

5月9日、グランデールガーデンを会場に「秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会」の総会及び整備促進大会が、140人あまりの参加者を迎えて開催されました。

新仙岩トンネルは、災害リスクの軽減により秋田新幹線の定時性を確保し、時間短縮により円滑なアクセスを可能とするなど仙北市の経済発展に大きく寄与することが期待される重要なトンネルです。

初めて岩手県議会の皆様にも出席いただき、新仙岩トンネルの必要性の認知が高まったものと感じています。今後も関係自治体と連携し、要望活動を行うなど整備に向け取り組みます。

## ◇長崎県大村市との姉妹都市提携45周年式典について

5月31日、仙北市議会、仙北市役所職員、戊辰会の方々など総勢48人で、長崎県大村市を訪問し、仙北市・大村市との姉妹都市提携45周年記念式典に参加しました。

式典では、大村市の<sup>ごおうかい</sup>吾往会、姉妹都市親善協会と、仙北市の戊辰会、そして交流のある市町村関係者、議会関係者など総勢140人が集い、これまでの歴史を再認識し、これからの関係をともに確認する大村市・仙北市姉妹都市連携共同宣言書に調印しました。また、式典及び翌日のおおむら花菖蒲まつりにおいて、仙北市では「おやま囃子」を披露しました。花菖蒲まつりでの物販も盛況となりました。

このご縁を大切に、今後もこの交流が両市にとって実りあるものとしていきます。

## 【観光文化スポーツ部】

### ◇令和5年の観光客数について

令和5年1月から12月までの入り込み客数は、前年比14.3%増の約356万人で、うち宿泊客数は8.2%増の約46万人となりました。

特に宿泊者はインバウンドが令和4年よりも好調で、この間の外国

人宿泊客数は、25,508 人となりました。台湾からの宿泊客数が 7,725 人と昨年に比べ 18.5 倍と好調であり、タイに関しても前年比 6.3 倍の 1,783 人とこれまでの活動が実を結びつつあると感じております。また、香港、中国、<sup>おうべいごう</sup>欧米豪の順に多く、ヨーロッパが 2,460 人、アメリカも 1,896 人を超えるなど、インバウンド客で賑わいました。

グリーンツーリズム提供宿泊施設の宿泊客数は、17,771 人、うち外国人宿泊客数も 3,283 人となり、過去最高の受入れとなりました。

#### ◇あきた花紀行について

今年の角館の桜まつりの観光客数はプレオープンの4月 13 日からの計上で 86万4千人と推計しており、コロナ前の令和元年の140万 1千人に比べると約 60%、令和 5 年度に比べると約 120%となりました。

#### ◇全国伝統的建造物群保存地区協議会(伝建協)について

5 月 15 日、都内で開催された全国伝統的建造物群保存地区協議会役員会、伝建にぎわい推進議員連盟総会に出席し、全国 105 自治体、127 地区を代表する副会長として、予算獲得に向けた要望説明を行いました。

当日は、超党派の国会議員 44 人、全国伝建地区の首長等 51 人の参加があり、資材・人件費高騰による文化財所有者やそれを支える自治体の負担増大など、現状と課題を説明の上、国に要望するとともに、議員連盟へさらなる支援をお願いしました。

5 月 23 日、24 日、長野県長野市で開催された、第 46 回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会に出席しました。記念講演や首長サミット、長野市戸隠<sup>とがくし</sup>伝建地区の現地視察・住民プログラムなどに参加しました。全国の市町村長と課題を共有し、今後も連携して伝統的建造物群を保存し、活用することを確認しています。

## ◇これが秋田だ！食と芸能大祭典 2024 について

5月25日、26日、秋田市を会場に開催された「これが秋田だ！食と芸能大祭典」に角館祭りのやま行事が出演しました。お囃子、手踊りが披露され、来場された多くの方々に角館のお祭りの魅力を伝えました。また、紙風船上げの願いごと記入や樺細工の製作体験、市町村観光物産PR等のコーナーも設けられ、県内各地の食や伝統芸能とともに会場を大いに盛り上げ、2日間で14万3千人の来場者となりました。

## ◇秋田駒ヶ岳山開きについて

6月1日、秋田駒ヶ岳が山開きとなりました。今年は駒ヶ岳八合目での安全祈願祭の後、記念登山が行われ、仙北市側から80人あまり、雫石町側からは40人あまりの方々が参加し、男岳頂上<sup>おだけ</sup>でピッケル交換を行いました。

## ◇第37回田沢湖マラソンの開催について

5年ぶりにゲストランナーをお迎えし、9月15日に第37回田沢湖マラソンが開催されます。ゲストランナーは2018年、2019年に引き続き3度目となる、渋井陽子<sup>しぶいようこ</sup>さんです。渋井さんは、2008年北京オリンピック女子10,000m日本代表として出場し、現在は三井住友海上女子陸上部のコーチとしてご活躍されています。

また、今回の大会テーマは、市内の小中学生から募集し、全252作品の中から、生保内中学校2年島川理輝<sup>しまかわりき</sup>さんの「笑顔も深さも日本一！！～田沢湖ブルーを駆けぬけろ～」が選ばれました。

## 【農林商工部】

### ◇新規就農者等の確保・育成について

仙北市の農業の担い手育成について、今年度は秋田アグリフロンティア育成研修において新規研修者1人、2年目研修者1人が、秋田

県農業試験場などで研修に取り組んでいます。また、昨年度で研修を終えた2人と、農業次世代人材投資事業等の活用による1人が、新規就農者として生保内地区、神代地区、角館地区でそれぞれ営農を開始しており、地域農業を牽引する将来の担い手として成長されるよう期待しています。

#### ◇田沢湖玉川地区の国有林への入山禁止措置について

秋田森林管理署・秋田県・仙北警察署・田沢湖猟友会などで構成されるツキノワグマ対策連絡会議では、田沢湖玉川地区の国有林でのツキノワグマ生息状況などを踏まえ、今年度も引き続き5月10日から秋の降雪までの間、国道341号沿いからの国有林への入林禁止を決定しております。皆様の安全・安心を確保するため、ご理解をお願いいたします。

#### ◇クマ対策について

昨年7月に古城山公園内で人身被害があったことから、5月9日、当該地区にクマ監視用カメラを設置しました。5月12日にクマが撮影されたことから、古城山公園出入口を封鎖しました。

5月24日、田沢地内の山林で、市内在住の女性がクマに襲われ、顔と両腕を負傷し搬送されました。今年度もクマの目撃情報が多いことから、市民への注意喚起を継続し、情報提供等を展開します。

#### ◇土地改良事業について

生保内南地区で事業実施中の農地集積加速化基盤整備事業は、この春の補完工事をもって完了となります。神代地区は、引き続き事業を推進してまいります。

中川地区では事業実施中の農地中間管理機構関連ほ場整備事業の面工事を引き続き行います。また、今年度新規採択を受けた大瀬<sup>おおせ</sup>蔵野<sup>そうの</sup>地区は受益面積48.4ヘクタールの全体実施設計に着手いたします。

ため池等整備事業では用水路の老朽化に伴い、新たに若松堰<sup>わかまつぜき</sup>土地改良区管内においてかんがい排水事業により、受益面積64ヘクタールの測量設計に入ります。

引き続き国への要望等を行いながら事業を進めてまいります。

## 【建設部】

### ◇国道整備促進期成同盟会について

5月7日、大仙市の大曲エンパイヤホテルを会場に高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会の通常総会が開催されました。

5月17日、グランデールガーデンを会場に国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会と大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会の合同総会を開催いたしました。

本荘大曲道路、大曲鷹巣道路は共に秋田県の縦軸となる国道105号、国道46号盛岡秋田道路は岩手県と秋田県の県都を結び、秋田県の横軸で、いずれも地域の発展に大きく寄与する重要な道路です。

今後も関係自治体と連携し、要望活動など、国道整備促進に向けた取り組みを強力に進めます。議会の皆様の特段のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【医療局】

### ◇発熱等風邪症状への対応件数等について

令和5年度の発熱等風邪症状の対応件数は、田沢湖病院で対前年比103件増の1,401件、角館総合病院で対前年比2,799件減の4,282件となっています。角館総合病院の新型コロナ入院患者数は、対前年比959人減の742人で、5類移行後大幅に減少しており、流行状況の改善が見られます。

### ◇令和5年度決算見込みについて

田沢湖病院は160万7千円の赤字見込みで、前年度の1,040万

3千円の赤字から赤字額が縮小する見込みです。角館総合病院は3億4,487万9千円の赤字見込みで、前年度の3億1,787万4千円の赤字から赤字額が拡大する見込みです。両病院ともに、コンサルティングの活用などにより、診療単価は向上していますが、患者数の減少やコロナ補助金の終了により減収となる見込みです。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本定例会に提案している案件は、報告関係7件、条例関係3件、予算関係4件、その他2件、人事関係5件の計21件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。